

# 原ゆうじ市政報告 VOL.47

TEL&FAX047(367)6754 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！詳しくは原ゆうじ公式 HP:hara88.mobiにて



(原ゆうじのプロフィール)  
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、  
立教高校、立教大学理学部化学科卒。  
長瀬産業(商社)勤務を経て家業で  
あるベーカリー店を継ぐ  
平成22年、市議初当選(現在2期目)  
妻、4子(3男1女)の6人家族

松戸市議会議員 原ゆうじの市政最新レポート

税金の無駄遣いは許さない！

最近、何か  
と話題の

## 松戸市議会議員の政務活動費(領収書)

### 一步前進！議会ホームページで公開へ！

#### 政務活動費の運用とチェック体制の現状

政務活動費の交付を受けた議員は、毎年度、収入額と支出額を明記し、領収書添付で収支報告書を議長に提出するのが原則となっています。剰余金がある場合には、その額を返還しなければなりません。また、提出された収支報告書(領収書)は、議会事務局で閲覧出来ます。収支報告書のチェックは、各会派の会計責任者で構成する「会計責任者会議」で厳正に行われており、仮に支出に疑義があった場合、事情を聴取の上、その支出は認められなくなるケースがあります。ちなみに、意外(?)かもしれませんが、個人的には、松戸は他と比べ、そのチェックは厳しい方と思っています。

#### どんな支出に払われるのか？政務活動費の範囲について

松戸市の条例で認められている政務活動費の範囲は、①調査研究費②研修費③広報費④広聴費⑤会議費⑥資料作成費⑦資料購入費⑧人件費⑨事務所費⑩事務費⑪通信交通費となっており、すべて領収書添付が原則となっています。ちなみに、領収書添付が難しく、兵庫元県議が何回も日帰り出張を繰り返して問題となった交通費ですが、こちらも日付、行先、内容などを示す書類を添付することとなっており、又、自身の使用分との区別が付きにくいガソリン代や電話代、インターネット使用料については、支払い証明となるようなカード支払明細書などを添付しなければなりません。さらに、通信交通費については、総支払額の4分の1、上限が月1万円と制限されています。

**政務活動費とは？**  
議員が行う調査研究やその他の活動に対して、必要な経費として会派や議員に交付されるものです。  
松戸市の場合には、議員一人当たり月額5万円(年額60万円)が、④⑦⑩①月の四半期ごとに分けて十五万円づつ先払い方式で支給されています。

### どうしたら不正を防げるのか？原ゆうじの考え！

松戸市では厳しいチェックが行われている政務活動費ですが、許せない不正をさらに防ぐためにはどうしたらいいのでしょうか？その方法は二つあると思います。それはズバリ！領収書のホームページ公開と後払い方式導入です。

#### **方法その1** 領収書の添付&ホームページ公開を！こちらは今回実現へ！

これまでも、ほとんどの議会では、報告書と領収書は事務局で閲覧が可能でありました。が、閲覧期間も短く、また、自ら議会事務局まで足を運ばなくてはならなかったため、実際に閲覧に訪れる市民の方はほとんどいないのが現状でした。ですので、一つ一つの領収書チェックに、目が行き届かない部分もあったかと思えます。数多くの方の目がきちんと行き届けば、チェックも厳しくなり、必然的に不正も防げると思えます。多くの方の目が行き届くためには、ホームページでの公開が有用とされていましたが、ようやく今回、松戸では、28年度分から、領収書のホームページ公開が決まりました。

#### **方法その2** 後払い方式導入を！ 政務活動費、前払い方式から後払い方式に変えるべきだ！

政務活動費の問題は、もう一つ、前払い方式にあると思います。先にお金を支払われ、残ったお金を返す仕組みとなっていますが、一旦、入金されたお金を返すのが惜しくなり、「使い切るために」と領収書の偽造等につながるであろうと思われれます。なので、政務活動費の前払い方式をやめ、後払い方式に変えることで、不正の防止になると考えます。これは、民間会社なら当たり前のことだと思えます。世の常識＝議会の常識となるように、後払い方式導入を提案し、目指していきたいと思えます。それにしても税金の無駄遣いは頭に來ます！！

# 21 世紀の森と広場、さらなる活用を提案！

**年間来園者数 60 万人から 90 万人へ達成なるか！(原ゆうじ 12 月議会一般質問より)**  
皆様ご存知の 21 世紀の森と広場。松戸の中心に位置し、その広さは 50.5 ヘクタールと、松戸市の誇る都市公園ですが、近隣の船橋アンデルセン公園や野田の清水公園と比べ、「何か物足りない」「もっと、人を呼べるはず」と思っている方も多いのではないのでしょうか。

そんな中、市から、年間来園者数を現状の 60 万人から 90 万人 (H32 年度) 目標とすることが示されました。

さて、本当に達成となるのか？原ゆうじも「公園のさらなる活用を！」と、市に様々な提案をいたしました。

## 提案その 1：イベントのさらなる開催と充実を！（ソフト面での提案）

昨年 10 月の連休に行われたラーメンフェスタは、3 日間で 5 万人、晴れた最終日には 26000 人の来園者があり、1 日当たりとしては、20 年ぶりの数字でした。これまでにはなかった「食」のイベント開催をさらに増やすように、さらに、目標として B 級グルメの祭典「B1 グランプリ」の公園での開催を目指すようにと提案しました。

## 提案その 2：遊具（アスレチックなど）設置と「花」で有名な公園に変えるべきだ！（ハード面での提案）

遊具の設置は、市も本格的に実施検討中とのことでした。さらに、自然尊重型の公園というコンセプトからも「花」を戦略的に植えて、これをセールスポイントにできる公園にと変えるべきと提案しました。

## 提案その 3：さらなるコスト削減と増収策を検討すべきだ！（運営面での提案）

コスト削減や、斬新なアイデアによる来園者獲得のためにも、公園の管理運営を、他の大型都市公園同様、民間に委ねる検討をすべき、加えて、ネーミングライツ(命名権)による増収策も、公園整備の財源にするためにも行うべきと提案しました。

## 年間電気代、柿ノ木体育館 500 万円、東部スポーツパークは 47 万円！なぜ？ 進んでいない市内体育館照明の省エネ化！ LED 化を検討すべき！そしてまとめて入札を！

市内 70 体育館の照明は、未だ LED 化がなされておらず、現在でも主に水銀灯が使われています。

### 各課バラバラの対応！どげんかせんといかん！

その中で、スポーツ課管理の柿ノ木体育館では、年間電気代が 500 万円であるのに対し環境部管理の東部スポーツパークでは 47 万円！の年間電気代であることが市への質問で判明しました。理由は、東部のほうは、同じ水銀灯でも省エネタイプのもを使用しているからでした。

問題なのは、部署同士の横の連絡がなく互いにこの事実を知らないことだと思います。こうした省エネタイプのもがあるのなら、なぜほかの課に知らせないのか？なぜ同じ松戸市の体育館で省エネに対する姿勢がバラバラなのか不思議に思います。こうしたことでも市民の大切な税金が無駄に消えていきます。

松戸市内にある体育館は、小中学校 65 体育館を教育委員会施設課が、主に運動公園など 4 体育館はスポーツ課が、そして東部スポーツパーク体育館など 3 体育館を環境部が、とそれぞれ 3 つの組織で分けて管理をしています。

### 全体育館で LED 化 & 課のワクを超えてまとめて入札をすべきだ！

柿の木体育館については、LED 化により、年 400 万円以上のコスト削減が見込まれると市は答弁しています。仮に LED 化未実施の市内 70 体育館で LED 化をすれば、おそらくは年間で軽く億を超える電気代削減になるかと思えます。その際には、私の悲願であった防犯灯 LED 化の時と同様に、スケールメリットを考慮し、管理の課の枠を超えてまとめて入札をするべきと市に強く提案をいたしました。やはり、税金の無駄遣いは許せません！

## 原ゆうじ市政報告会 & 懇親会のお知らせ！

1 月 22 日（日）北松戸会館 お問い合わせ TEL：070-5540-9565

第 1 部、原ゆうじ市政報告会（無料）午後 4 時～5 時まで

第 2 部、後援会主催懇親会（有料）午後 5 時～7 時